



成田 あれ・これ



令和5年4月号 第334号

発行: 一般社団法人成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

新型コロナウイルスの影響によりイベントの変更や中止が生じる場合があります。
最新情報をご確認の上お出かけください。ご理解の程どうぞよろしくお願いいたします。
尚、イベントの情報は令和5年2月15日現在です。

成田山奉納 第33回

成田太鼓祭



令和5年4月15日(土)
16日(日)

日本屈指の太鼓の祭典「成田太鼓祭」が開催されます。陽春の大きさを震わせ、身体の内底に響き渡る太鼓の轟音、圧倒的な迫力で繰り広げられる響演を是非、ご堪能ください。

☆千願華太鼓☆ 時間: 両日10時より 会場: 成田山大本堂前

出演者が一斉に太鼓を打ち鳴らすという祭の幕開けにふさわしい華やかなイベント。

☆成田山千年夜舞台☆ 時間: 15日(土)17時より 会場: 成田山大本堂前

ライトアップされた幽玄な雰囲気の中で繰り広げられる特別な演奏です。

☆千鼓万礼パレード☆ 時間: 16日(日)15時より 会場: 表参道入口～成田山門前

成田山表参道入口から成田山総門前までを、個性溢れる太鼓チームが賑やかに練り歩きます。

※この他、成田山表参道に設置した特設ステージにて、各太鼓団体の演奏が繰り広げられます。力強い太鼓の音と躍動感あふれるパフォーマンスをお楽しみください。



【開催場所】 成田山新勝寺、成田山表参道

【開催時間】 4月15日(土)10時～19時 4月16日(日)10時～17時

【交通規制】 JR 成田駅～成田山門前(鍋店かど)

4月15日(土)9時45分～20時 4月16日(日)9時45分～17時30分

【お問合せ先】 成田太鼓祭実行委員会事務局 TEL 0476-24-3232

第31回不動の大井戸茶会

「不動の大井戸」から汲み上げられた水を用いて、表千家成田市茶道会社中によるお茶会が開催されます。

【日時】4月9日(日)～4月29日(祝・土)の

土曜・日曜・祝日10時～15時頃(定員に達し次第受付終了)

【場所】「なごみの米屋總本店」2階

成田生涯学習市民ギャラリー

【お問合せ先】 成田市観光協会 TEL 0476-22-2102



成田のおどい花見

約300年前の元禄年間頃から伝承されているといわれ、1964年に千葉県無形民俗文化財に指定されました。

成田の文化や人々の想いを今に伝える古式ゆかしい踊りです。郷部にある埴生神社から始まり16の神仏を参拝し、踊りを奉納します。

【日時】4月3日(月)8時～16時

【お問合せ先】成田市観光協会 TEL 0476-22-2102



千葉県立房総のむら 実演「犬供養」

お産の軽い犬にあやかり無事にお産がすむようにと祈願する行事です。枝が二又の木を立てて、枝に握り飯の入ったわらつとを下げて、花や線香を供えます。

【日時】4月16日(日)13時30分～13時45分

【休館日】月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館)

【お問合せ先】千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

小御門神社 春の例祭

立身流の奉納演武、成田市土室区神楽保存会による神楽奉納などの奉納行事が執り行われ、近郷近在から、多数の参拝者が訪れ賑わいます。

【日時】4月29日(祝・土)

【お問合せ先】小御門神社 TEL 0476-96-0449



いざ！成田詣へ～街道旅日記～その⑥

成田に人力車が入った年代は不明ですが、東京で流行してからわずかの期間に伝わったと考えられます。「成田近代交通へのあれこれ」(川辺春光氏著)によると、明治12年の人力車組合加盟者は、90人となっています。その後増加し、明治10年代後半の成田山周辺には、約140台の人力車が普及していました。

個人用の人力車もありますが、その大半は参詣客のための営業用でした。車夫達は、成田の入口ともいべき、並木町の一本松付近(成田山まで約3キロ)に集まり、また腕力・脚力に自信がある者は、酒々井や佐倉辺りまで足をのばし、成田街道を通る参詣客を待っていたのでしょう。

また、成田の街中では、若い女性の引く人力車が人気を博したと伝えられています。高島田に向こう鉢巻といった威勢のよい姿だったそうで、洒落た粋なサービスですね。

一般に人力車は、鉄道の発達と自動車の普及により衰退したと言われてはいますが、成田の場合は、明治30年代に成田鉄道(現在の JR 東日本旅客鉄道)が開通しても、成田駅と成田山門前までの約800メートルの距離を、人力車が走っていました。駅から宗吾霊堂や三里塚牧場へ行く交通の路線がまだなく、人力車に頼るしかなかったのです。駅付近には、多いときで約200台もの人力車が並んでいたと言います。

明治41年、成宗電気軌道株式会社が創立され、成田山門前一駅前一宗吾霊堂門前を結ぶ成宗電車が計画されました。成田駅前と宗吾間でなく、成田山門前に乗り入れることについては、人力車の車夫達が死活問題である。と一斉に反対をしました。成宗電車が開通後は、駅を起点に遠方に行く利用客を載せて走りました。その後は、他所と同様に、乗合自動車などの自動車の普及により、人力車業は次第に衰退し、昭和の初期には職業として成り立たなくなりました。(次回へ続きます。)

イベント等の関連情報については、FEEL 成田(<https://www.nrftk.jp>)をご覧ください。